



Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
 NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ユース-我らの財産・我らの誓い
- ② アジア会長標語 ひとつとなって青年とYMCAへ
- ③ 日本区理事標語 共に生きる喜びを確信しよう
- ④ 中部部長標語 交わろう隣人と
- ⑤ 会長標語 はみ出そうYMCA!

1995年 10月号

〈 今月の聖句 〉

しかし、イエスは言われた。「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」そして、子供たちに手を置いてから、そこを立ち去られた。

マタイによる福音書 第19章 14節～15節

1995年10月例会のご案内

● 第一例会

と き ; 10月9日(月) 19時～21時
 と ころ ; 焼肉ふじむら(大須観音南)
 電話番号 231-0080
 ※ 必ず出欠席を10月4日(水)までに
 連絡主事に連絡して下さい。

プログラム ; 卓話 「韓国あれこれ」

講師 季 永俊さん

韓国サンドルクラブとのIBC締結時に大変お世話になった季さんを講師に迎え、お話をうかがいます。季さんには '93年3月に一度お話をさせていただきましたが、日本での生活にもすっかり慣れ、今の日本の感想も交えながら、韓国の現状について我々の知識を深めていきたいと思ひます。また、サンドルクラブとのより積極的な交流を目指して、韓国語ワークショップも予定しています。

ドライバー : 荒川恭次兄 アシスト : 吉田一誠兄

● 第二例会

と き ; 10月24日(火) 19時～20時30分
 と ころ ; 名古屋YMCA 407号室

● プリテン委員会

と き ; 10月20日(金) 19時～
 と ころ ; 名古屋YMCA

● 南山メンズクラブ設立25周年

と き ; 10月14日(土) 16時～19時
 と ころ ; ルブラ玉山

● ファミリープログラム(根の上まつりバーベキュー)

と き ; 10月15日(日)
 と ころ ; 名古屋YMCA 根の上キャンプ場

● 南山YMCAバザー

と き ; 10月22日(日) 10時～15時
 と ころ ; 南山ランチ

● 名古屋YMCAバザー

と き ; 10月29日(日) 10時～16時*前日準備
 と ころ ; 名古屋YMCA 上前津本館
 バザー準備 10月28日(土) PM 7:00
 バザー当日 10月29日(日) AM 8:30

グランパストーク

もう歳かな?

暑かった夏が過ぎて秋の気配が感じられる今日このごろである。今年の夏も昨年に劣らず猛暑であった。しかし水不足もなんとか切り抜け、昨年買ったポリタンクは今年も倉庫の肥やしである。

さて、夏バテは夏の終わりにやって来るといふが、これまで夏バテには無縁の小生が、何たることか2ヶ月間の病院通いである。

夏の長期休暇前のある朝、急な腹痛で目が覚めたところから事は始まった。内から締めつけるような痛み、これは身に覚えがある。

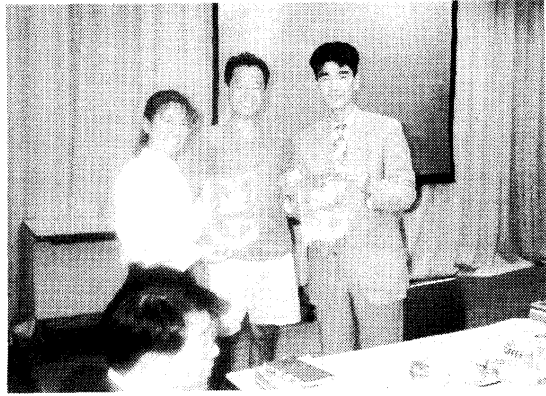
以前にもあった尿路に結石が詰まった時の痛みである。この犯人は時間の経過とともに痛みを増していく

ので、早期の措置が必要である。さっそくタクシーで某病院泌尿器科へ行くが、受付で急患と認めてくれたまではいいが、コンピュータでの書類作成・問診等々、痛みは既に激痛に変わり「先生早く何とかしてよ」「検査が済むまで我慢して下さい」… 鎮痛処置されるまでの1時間余は生地獄であった。石持ちが正式に判明、併せて肝臓に影、大腸にポリープ有り…。私は一夜にして大病人になってしまった。昨日までの元気は何だったのか。「ビールは控えて下さい…あなたは病氣!」このようにマインドコントロールされては、病人にならなくてはいけない。しかし、家族も職場も、誰も病人扱いをしてくれないので、自分だけでも病人になろうと努力しています。みなさんしばらくの間取扱いに注意して下さい。

荒川恭次

9月27日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ァ ン ド (9 月)	
	在 籍 者	23名	第 1 例 会	13名	当 月 ・ 切 手	-	ニ コ B O X ノ ー ト	7,500
	例 会 出 席 者	16名	第 2 例 会	10名	当 月 ・ 現 金	-	フ ェ ン ド	39,775
	当 月 出 席 率	70%	部 会 他	0名	累 計	-	合 計	47,275

H・H & チャリソンキャンプ報告 95年度第1回オークション報告



1. H・H & チャリソンキャンプ

第1回チャリソンキャンプは昨年度実施されたチャリティランの収益により、愛知県下小学生（中学生各1名含む）の視覚障害児を対象として日和田高原キャンプ場にて8月17日～20日の3泊4日の日程で参加者26名、スタッフ・リーダー13名、計39名にて開催された。

プログラムは野外料理、川遊び（自作水鉄砲・イワナつかみ）、ハイキング、ボランティアで関わっていただいた小谷次郎氏（名古屋ワイズ）による星座ウォッチング等日和田高原の自然環境を最大限生かして展開された。メンバーに対するプログラム内容情報方法に改善点はあるが、第1回目としては大成功であり是非来年ワイズメンのボランティア参加が要請された。

合わせて、HHC（オーストラリア・台北）の報告がされメンバー8名・引率者1名が参加。ホームステイ、交流等有意義なキャンプであっ



たと常川里美スタッフ・谷村潤一リーダーより報告がされた。当クラブも今後この種のプログラムを支援することが確認された。

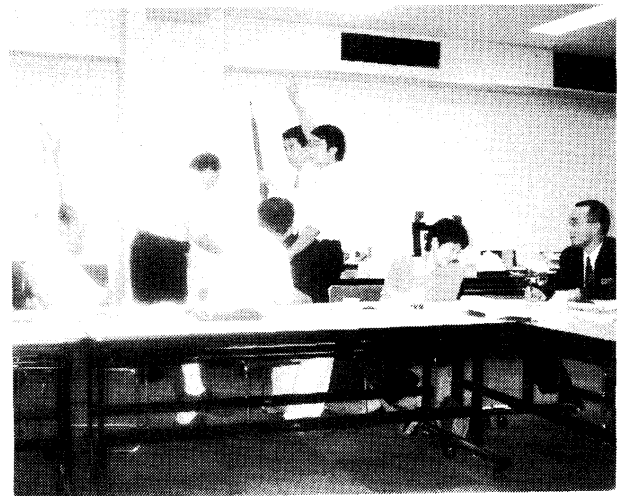
2. 第1回オークション開催

滝川君の迷調子と強制指名の中、第1回オークションが行われ、52点総額39,200円の売上があった。個人買上ベスト3は井川君、三井君、坂倉君。時間の関係上一部品物が余り次回に回すこととした。

3. 諸連絡

- 1) 三井君より第50回日本区大会準備進捗状況報告。（別紙資料参照）
- 2) 会長よりYMCA支援金システムについて当クラブとしては独自の方法で支援する方向が示され、当クラブはこれを承認した。
- 3) 三井君よりメネットお見舞の件にて謝辞が述べられた。
- 4) 坂倉君より10月15日開催の根の上祭りの開催要項と参加要請があった。

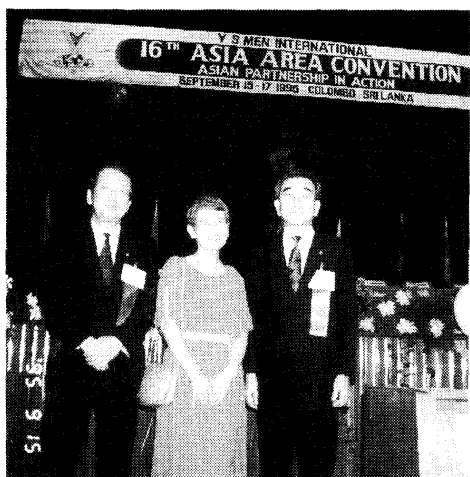
〈吉田 正〉



ハッピーバースデー

- | | | |
|------|-----|-------|
| メンバー | 6日 | 尾崎 史忠 |
| | 11日 | 油口 直広 |
| | 15日 | 早川 隆 |
| コメント | 2日 | 吉田 剛 |
| | 13日 | 三井由利子 |
| | 15日 | 三井加奈子 |
| | 25日 | 坂倉 央輝 |

第16回アジア大会(コロンボ)報告



九州より大きく北海道より少し小さい国土に1,700万人余の人々が生活するこの国には信号機が16ヶ所しか無いと言う国スリランカ(旧セイロン)のコロンボで16回アジア大会が開かれました。

コロンボまでは日本から直行便で約8時間半と少し遠いことと“爆弾さわぎ”の影響か日本から約80名、韓国から約60名、全体で300名と人数的には少しさびしい感じがしましたが、地元ワイズメン(スリランカには4のクラブがある。)の良きホスピタリティーのお陰もあって、心暖まる大会でした。

初日は開会式(石井アジア新会長の基に開かれた。)と基調講演、歓迎夕食会が日本とは違ってゆったりとしたスペースで開かれました。(私事ですが小生の分のみ登録モレと言う不運もあり、余計にスローに感ぜられた。)

2日目は分団協議が行われ、この中でスリランカのパネラーが、日本も韓国もIBCやYEEPのプログラムで欧州やアメリカの方のみを向いているがもっと地域内の交流に目を向けるべきと言う指摘や中国へワイズ運動を拡げるEMC(日韓ワイズが協力して展開している。)も必要だが、アジア内で活動の低調な国への支援(MC)も重要ではないかと言う指摘が出され、相手の立場に立った交流の必要性を感じると共に日本や韓国等経済力のある国への色々な意味での期待とその行動に対する責任の重さを考えさせられました。

大会会場には、バンダラナイケメモリアル国際会議場と言う立派なところでしたが、ここでは何と3年前に“オウム”麻原一行がオペラ上演と言うことで飛行機をチャーターし乗り込み、切符の2重売り等で大変な混乱を起こしたあげく、帰りのチャーター便内で航空会社と問題を起こし、運行を拒否され途中で引き返すと言うハプニングまであり、“オウム”も布教をあきらめたとのガイドさんの余談もありました。

2日目の晚餐会は遅れに遅れようやく9時半頃から食べ始めることになった一方で3日目の閉会式はこれ又かなり早く終わってしまうと言う、スケジュール的には全く“アバウト”なものでした。

大会中、昼、夜5回の食事がありました。全て違うホテルでバイキング式の着席方式でしたので色々な人と話す機会も多く、小人数の大会ならではの良いところもありました。

大会出席のみで観光らしいことはほとんどできず残念でしたが、スリランカの人々の澄んだ目と笑顔は素晴らしく、機会があれば又訪れたいものである。

来年はカナダで(8月1日～4日)世界大会が開かれます。遠いところで時間と費用がかかりますが、今から準備して是非みんなで行きましょう。ワイズの国際的な拡がりや体験できる良い機会です。

(吉田 一誠)



第13回中部部会報告



今年度の中部部会は、8月26日(土)～27日(日)の一泊にて、日間賀島で行われました。さすがにサウスクラブがサポートしただけに大変こじんまりとした、特徴ある中部部会となりました。

当日わがクラブより、荒川兄、池野兄、吉田(一)兄、吉田(正)兄、坂口の5名が参加しました。釣りをしている開会式ギリギリに宿に着いた不届き者もおりましたが、開会式には無事全員そろって参加しました。開会式は後ろに海が広がる、大変風景のより公民館にて行われました。

第2部の記念講演は、名古屋 YMCA 総主事の岩瀬氏より「ワイズメンズクラブへの期待」というテーマであり、特に若者へのサポートを期待する意見がありました。

第3部のフェローシップアワーでは、日間賀島の海の幸を堪能し、お酒も大変進み盛り上がりました。私も昨夜よりの疲れとこのお酒により、9時頃までには床に入ってしまう、残念ながらナイトアワーについてはレポートできませんが、その後も大変盛り上がり、修学旅行のように、話し疲れ廊下で寝こんでしまう人もいたそうです。

翌日は朝5時ぐらいより目がさめてしまい、島一周の散策をしながら早天礼拝の会場である東海岸に行ってみると、時間までにはほとんどの人が集合して礼拝を待っておりましたが、この日も朝より大変暑く、日陰を求めて移動ばかりしておりました。礼拝後引き続き閉会式も海岸

95-96 出席表

95.9.27

No.	氏名	例会	9/8 準備委員 大会	9/11 第一例会	9/20 ブリテン 委員会	9/26 第二例会	9/27 準備委員 大会	出席 ポイント
1	阿部 一雄	/	○	/	/	/		5
2	荒川 恭次	/	/	/	○	○		10
3	井川 幸吉	/	○	○	○	○		14
4	池野 輝昭	/	/	/	○	○		11
5	内垣内 登 壘	/	/	/	/	/		5
6	馬場 寅太郎	/	○	/	/	/		3
7	尾崎 史 忠	/	/	/	/	/		2
8	加藤 道 子	/	○	/	○	/		6
9	加藤 元 紹	/	○	/	/	/		5
10	坂口 功 祐	/	○	/	○	/		15
11	坂倉 洋	/	○	/	○	/		11
12	佐藤 壽 晃	/	/	/	/	/		4
13	真田 幸 治	/	/	/	/	/		1
14	滝川 眞 充	/	○	/	/	/		3
15	丹羽 眞 清	/	/	/	○	/		5
16	服部 庄 三	○	○	○	○	○		15
17	早川 隆	/	/	/	/	/		0
18	坂野 清 治	/	/	/	/	/		1
19	三井 秀 和	/	○	○	○	○		11
20	油口 直 広	/	/	/	/	/		2
21	吉田 一 誠	○	○	/	○	/		16
22	吉田 正	○	○	/	/	○		12
23	木野村 映	○	○	○	/	/		12

で行い、最後には海をバックに記念撮影、本島に離れ小島での中部部会となりました。

次回は、南山クラブがホストとなり来年行われますが、南山クラブも11名の参加でその意気込みが感じられました。

(坂口 功祐)

